



## 地域発 元気づくり支援金【長野地域】 令和2年度事業の優良事例を選定しました

地域の皆さんが知恵と工夫で地域の元気を生み出すため、令和2年度に「地域発 元気づくり支援金」の交付を受けて実施された 53 事業のうち、着眼点や他地域への波及効果などが特に優れ、多くの皆様に御紹介したい優良事例を3事業選定しました。

### 1 選定事業

#### ◎ 知事表彰

■事業名:365日大学

実施主体:365日大学(長野市)



事業概要	シニア世代を中心に、フレイル予防やサキベジに関する学習会など各種講座や、会員による講座を開催するほか、農業支援やボランティア活動も実施し交流や学び、地域活動を行える環境をつくることで、参加者の生きがいづくりや健康増進、地域活性化につなげていく事業。 ・総事業費(うち支援金額) 4,888 千円(3,909 千円)
★選定のポイント	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座をオンライン開催に切り替えたことにより、シニアがPCや Zoom の活用等を始めた新たな挑戦を始めるきっかけや活力を創出した。また、コロナ禍であっても交流や学び、地域活動を行える環境をつくることで、参加者の生きがいづくりや地域活性化にも寄与するなど、モデル性の高い事業となった。

#### ◎ 長野地域振興局長表彰 : 2事業

■事業名:十六夜観月文化推進事業

実施主体:網掛区(坂城町)



事業概要	古くから観月の名所として知られる「十六夜観月殿」は、従来より網掛区において管理や周辺環境の整備を担っているが、茅葺き屋根の老朽化が激しくこのままでは観月殿そのものの崩壊の恐れもあるため、地域協働で建物の改修(茅葺き屋根の全面はき替え)を行うほか、落成記念冊子の作成・配布、記念俳句会等を開催。 ・総事業費(うち支援金額) 6,773 千円(4,915 千円)
★選定のポイント	十六夜観月殿の修復作業を地域で行うことにより、地域文化の保存ができたことだけでなく、地域のつながりを強めるとともに、ふるさとの歴史を学ぶ貴重な機会となった。今後はこの観月殿を通じて、地域住民や子ども達、来訪者への地域文化の継承、PRにもつながることが期待される。

■事業名:北信エリア 地元産酒類の  
ツーリズム資源化推進事業

実施主体:北信エリア 地元産酒類の  
ツーリズム資源化推進実行委員会(長野市)



事業概要	<p>日本酒や長野県、交通機関にゆかりのあるタレントが北信濃エリア 15 蔵を実際に訪れ、それぞれの蔵と酒を味わい、そのリアルな様子を生配信(YouTubeLive)という形で全国に発信する事業。実際に巡った様子を収めた YouTube ライブをアーカイブ版にし、当日以降いつでも視聴可能とした。</p> <p>さらに、イベント参加者が酒や蔵人と直接触れ、魅力を知るきっかけづくりとして、PRイベントへのブース出展も実施。</p> <p>・総事業費(うち支援金額) 5,386 千円(4,308 千円)</p>
★選定のポイント	<p>発信力のある人物による YouTube からの発信により、北信地域の観光資源である酒と酒蔵にスポットを当てたエリアツーリズムの発展に寄与するとともに、長野地域の酒蔵の魅力を広く発信につながった。酒蔵や商品・蔵人紹介だけでなく、地元の公共交通機関を利用し、移動風景も含めて沿線の美しい風景と共に酒蔵周辺の魅力も合わせて伝え、コロナ終息後に訪れてみたいくなる構成となっていた。</p>

- ・ 事業の選定に当たって、「地域発 元気づくり支援金」長野地域選定会議の御意見をいただきました。
- ・ 選定された事例は、県の広報などを通じて広く御紹介します。

## 2 優良事例選定の主なポイント

- ・ 地域のニーズを的確に捉え、地域の元気づくり創出効果が大きいこと
- ・ 実施方法などに、他にはない創意工夫があり、モデル性が高いこと
- ・ 他の地域で実施した際も同様の効果が期待できるなど、高い波及効果があること

## 3 表彰式の実施

令和3年12月3日に、今回選定した優良事例(知事表彰及び地域振興局長表彰)の表彰を行います。詳しくは後日プレスリリースいたします。

確かな暮らしが営まれる美しい信州  
～学びと自治の力で拓く新時代～

しあわせ信州創造プラン 2.0 (長野県総合 5 年計画) 推進中



ながの果物語り

長野地域振興局企画振興課  
(課長) 西川 裕  
(担当) 鎌田 俊一 柳澤 かおり  
電話: 026-234-9501 (直通)  
FAX: 026-234-9504  
E-mail: nagachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp